

農村開発・地域計画学特論 (2単位)

担当者氏名 泉田洋一

◆学習・教育目標

農村開発および地域計画の理論と方法を学習し、新たな農村開発としての農村再構築の在り方を考えるが、本講義では農業・農村開発の意味を根底から捉え直すと同時に、農村開発にあたって、主に金融的な手法を使ったアプローチを考察する。

そこで、農村開発・地域計画学特論では、農村開発・地域計画に関連する下記の研究項目をゼミナールを通して学習し、修得する。①農業・農村開発の意味するもの。②農業・農村開発と貧困削減。③農業・農村開発と環境の問題。④市場の失敗と農業・農村開発。⑤金融的な手法を使った農業・農村開発。⑥農業・農村開発と政府の役割

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農村開発	農村再構築	農業発展	貧困削減
農村金融	マイクロファイナンス	市場の失敗	政府の役割

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	農業・農村開発への接近 視点 (第1~3週)	・ 農業・農村開発の現状	本特論のねらいは、農業・農村の開発にあたって基本となる考え方を身につけることにある。まずは農業・農村の現状を把握し、またその発展の経路を確認しながら今後の課題を明確にしていけることが重要。その作業の中で、具体的に特定の地域の開発のあり方を考えてみたい。 授業に参加するにあたっては農村開発の基本文献を読んでいることが望ましい。
2	農業・農村の捉え方 (第4~6週)	・ 農業と開発のカテゴリー化と農業・農村開発の経路	
3	金融と農村開発 (第7~9週)	・ 農業・農村開発と市場の機能 ・ 金融の機能 (1) ・ 金融の機能 (2)	
4	マイクロファイナンス (第10~12週)	・ 途上国における農村金融あるいはマイクロファイナンスの現状と課題	
5	農業・農村開発と政府の役割	・ 農業・農村開発と政府の役割	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

World Development Report 2008/World Bank (2008)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

農村開発金融論/泉田洋一/東大出版会 (2003)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

ゼミナールでの議論、発表などの学習態度によって評価する。

◆その他受講上の注意事項

農村開発や農村計画学の基礎理論や方法を自分のものにするという積極的態度で受講すること。